

齊藤茂吉全集

第八卷

齊藤茂吉全集

第八卷

第三回配本（全三十六卷）

齋藤茂吉全集 第八卷

定價 千六百圓

昭和四十八年三月十三日 發行

著 者 齋 藤 茂 吉

發行者 岩 波 雄 二 郎

發行所 東京郡千代田區一ツ橋二丁目五番五號
株式會社 岩 波 書 店

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・亂丁本はお取替いたします

目次

童馬山房夜話

1	文獻引用	三
2	感謝の辭	四
3	「柿本人麿」正誤	八
4	手紙の返事	八
5	短冊に歌かく事	一〇
6	漢詩の表現と和歌の表現	一三
7	看忙の用語例	一五
8	鴨山異説	一六
9	短歌の實用性	一九
10	歌壇評	二三
11	アララギ本位	二三

12	大鹽中齋	二四
13	猫	二五
14	影武者	二五
15	辭苑	二七
16	入唐痢病	二七
17	黑溝臺戰	二九
18	直線光	三三
19	都怒の娘子	三四
20	二段組三段組	三四
21	歌と文法、送假名、『聞こゆ』	三六
22	芭蕉と萬葉集	三八
23	塹城	四〇
24	貝と峽	四〇
25	第八師團戰記	四一
26	正誤	四四
27	すみれと食用藥用	四五

28	菓と食用 つづき	四六
29	柿本寺歌塚縁起	四七
30	純文藝餘技説	四八
31	歌道祕傳	四八
32	あはれし	四九
33	批評家の俳句排斥	五〇
34	西部戦線に於ける戦友	五〇
35	西部戦線に於ける戦友 つづき	五一
36	西部戦線に於ける戦友 つづき	五一
37	西部戦線に於ける戦友 つづき	五二
38	戦争映画戦記其他	六一
39	上海出征記	六四
40	菊池氏の山形遊記	六六
41	茂吉追憶文	六九
42	憲吉の賀歌一首	七〇
43	枕頭の書	七〇

44	噺囀		七一
45	『看忙』續話		七三
46	童馬山房夜話評		七七
47	佐竹義躬の歌		八〇
48	秀吉評		八一
49	エスキモー		八二
50	三山の歌解文獻補遺		八五
51	隨筆		九一
52	文士の新宅		九四
53	留學生		九五
54	清明		九七
55	美人所做		九八
56	排日マツチ		一〇〇
57	勤行の聲		一〇一
58	兒童の音響		一〇四
59	美人吉士		一〇五

60	概念	一〇七
61	西洋映畫の一場面	一〇八
62	冥途から名人大會	一〇九
63	國歌大觀と萬葉集總索引	一一三
64	歌集命名	一一五
65	雲の渦	一二六
66	讀仰臥漫錄	一二六
67	模範	一二八
68	現代的	一二九
69	由利貞三君に答へる	一三〇
70	また三山歌解に就いて	一二六
71	美術の本質的價值	一三一
72	初期の新派和歌的	一三一
73	春の調べ	一三一
74	下山	一三四
75	また三山歌解に就いて	一三五

76	また三山歌解に就いて	一三六
77	人麿萬葉地理正誤	一三七
78	人麿鴨山考補註篇正誤	一三八
79	心忤亢進	一三九
80	模倣問題	一四〇
81	談話筆記	一四一
82	愚物	一四四
83	ラヂオ佛法僧	一四五
84	人麿地理正誤	一四七
85	専門の士	一四九
86	露伴翁の論文	一五一
87	鼠	一五二
88	木炭瓦斯	一五三
89	秀吉	一五四
90	大觀の「龍」	一五六
91	無題	一五七

107	鷗外全集	一七
106	ソ聯の新世帯	一七五
105	長崎便	一七三
104	夢補遺	一七三
103	童謡	一七二
102	門人	一七二
101	義を安く見る	一七〇
100	夢	一六八
99	自然加工	一六六
98	勤行放送	一六五
97	或る人の話	一六五
96	鷗外全集	一六四
95	息軒先生	一六三
94	出版	一六一
93	無名氏來書	一六〇
92	襟卷	一五八

123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108
歲晚	射山翁	日本媼來書	幸田露伴翁	平田篤胤	選歌	『なきがら』訂正補遺	ブーズー辯退治	歌壇系統圖	秀吉日記	金槐集校訂	正誤	赤彦の歌十首	歌集「朝雲」	歐訪八十七日	投稿歌と選者
.....															
二九	三八	三五	三四	三三	三二	三〇	二九	二七	二五	二五	二四	一九五	一八〇	一七九	一六

139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124
『くれなゐ』	曙覽と元義	清明	サヤケカリコソ	狹岑島について	寛・晶子	五十首選	赤彦歌集正誤	子規の歌一首	牛の歌	續射山翁	二たび秀吉日記に就いて	牧水氏の歌二首	赤彦作『なきがらを』	歌友	赤彦記念號
二五八	二五六	二五五	二五三	二五二	二五一	二五〇	二四八	二四七	二四三	二四二	二三九	二三八	二三七	二三四	二三三

155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144 143 142 141 140

方言	二八六
二たび『ああそれなのに』	二八一
飄亭翁	二八〇
自作一首	二七一
河上博士の歌	二七〇
六月十一日	二六八
正誤	二六七
拙著「柿本人麿評釋篇」	二六七
北海道來信	二六六
將棋評	二六三
長塚節歌集正誤	二六三
サヤケカリコソ訓の先蹤	二六二
風邪	二六一
新萬葉集	二六一
正誤	二六〇
正誤	二六〇

171	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161	160	159	158	157	156
宣傳戰	利劍	娘子軍	持久	銃後	新訂金槐和歌集補正	ありましねえ	獨逸通信	鹿	補色	純情運轉手	古體	マチルダ・ヘック	澤東綺譚	左千夫の歌一首	選歌
.....															
二〇四	二〇三	二〇一	二〇一	二〇〇	二九八	二九七	二九六	二九五	二九五	二九三	二九三	二九二	二九〇	二八九	二八七

187 186 185 184 183 182 181 180 179 178 177 176 175 174 173 172

「馬」餘言	172
菅の實に就いて	173
ヤマスゲの話	174
戦争の歌	175
新年	176
歌の批評	177
書と畫	178
『鷗外』の雅號	179
『半甘』の訓に就いて	180
國民歌謠	181
不眠症	182
アララギ表紙の寫眞	183
ムツソリニ首相	184
夢	185
閨丘胤	186
宋美齡其他	187

203	202	201	200	199	198	197	196	195	194	193	192	191	190	189	188
漢吳音圖	五たび鷗外の號に就いて	五たび鷗外の號に就いて	正宗氏來書	井上博士來書 (四たび鷗外の 號に就いて)	『半甘』の訓、補言	馬	抗日的文句	希臘詩抄	日本と中華民國	新萬葉集	鷗外の號に就いて (三たび)	病後雜感	再び『鷗外』の號に就いて	南京防備	宣傳
三六六	三六三	三六一	三六〇	三五八	三五三	三五二	三五二	三五〇	三四八	三四七	三四四	三四〇	三三七	三二六	三二五

219	218	217	216	215	214	213	212	211	210	209	208	207	206	205	204
國民武裝	デエメル	事變一周年	雑話	秀吉の辭世歌	歌評	左千夫の歌一首	養氣	雑談	尾山氏の評言	新村博士の一首	鷗外全集翻譯篇	六たび鷗外の號に就いて	雑話	いろは館	麥飯山
.....															
三九三	三九二	三九一	三九八	三九七	三九四	三九三	三八一	三七六	三七四	三七四	三七三	三七一	三七〇	三六九	三六八